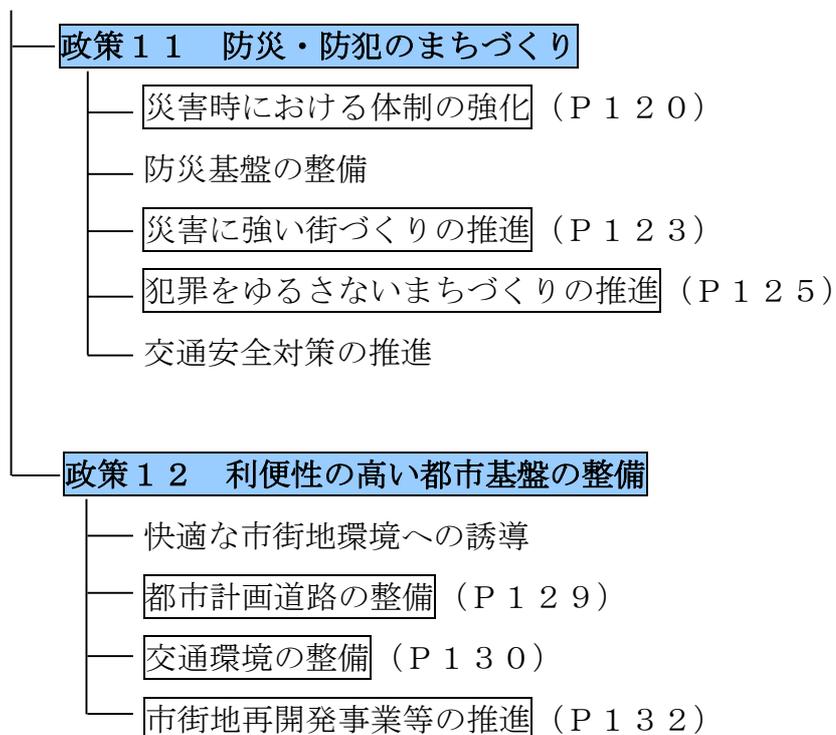


VI 安全安心都市

安全安心都市



□ 囲みは、重点施策

施策名

「災害時における体制の強化」



目的・方向性

過去の自然災害における教訓を踏まえ、「自助」、「共助」、「公助」の取組を総合的に推進することにより、災害時における体制の強化を図ります。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第3期)		
	5年度	6年度	7年度	8年度 【基本計画最終年度】
食糧や飲料水を7日分以上備蓄している人の割合	15%	17%	19%	22%
防災区民組織主催訓練実施率	85%	90%	95%	100%

重点事業 (計画事業)

事業名	防災意識の普及啓発			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での水・食糧の備蓄の推進や、屋内安全対策器具（感震ブレイカー、家具転倒防止器具等）の設置促進を図っていきます。 あらBOSAIをはじめとする各種イベント等の実施により、幅広い年齢層の方が防災訓練に参加するためのきっかけづくりを進めていきます。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
食糧や飲料水を7日分以上備蓄している人の割合	15%	17%	19%	22%
家具転倒防止対策の実施率	76%	78%	80%	82%
感震ブレイカーの普及率	22%	24%	26%	28%
防災区民組織主催訓練実施率	85%	90%	95%	100%

事業名	区民の防災行動力の向上			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 防災区民組織による自主的な避難所運営が可能となるよう、計画的に避難所開設・運営訓練を実施し、避難所開設・運営体制の向上を図るとともに、随時、訓練の結果を踏まえ「避難所開設・運営訓練マニュアル」の改善を進めていきます。 防災区民組織と連携して、区民へ初期消火や救出救助、応急救護に関する実践的な防災訓練を実施し、地域防災力の向上を図っていきます。 中学校防災部への活動支援等、防災ジュニアリーダーの育成を推進していきます。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
避難所開設・運営訓練の実施及びマニュアルの改善	推進・改善	推進・改善	推進・改善	推進・改善
中学校防災部の部員数（卒業生含む累計）【再掲】	1,100人	1,210人	1,320人	1,430人
ジュニア防災検定合格率【再掲】	82.0%	84.0%	86.0%	88.0%

事業名	区における災害対策の強化			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に災害対策本部訓練を実施していくとともに、随時、訓練の結果を踏まえ「災害発生時職員行動マニュアル」を改善していきます。 避難所開設・運営訓練における担当職員の訓練参加や、水害時の避難場所運営担当職員への研修を実施することにより、計画的に職員の災害対応力の向上を推進していきます。 災害発生時における他自治体や民間企業等との協定の締結を進め、災害時の受援体制を強化していきます。 地域防災計画等に定めた災害対策を着実に実行するための地域防災計画実施推進計画を定期的に更新し、推進していきます。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
訓練の実施及び災害発生時職員行動マニュアルの改善	実施・改善	実施・改善	実施・改善	実施・改善
他自治体、民間企業等との協定の締結	自治体 18 団体 企業等 144 団体	推進	推進	推進
協定締結団体との連携訓練の実施	推進	推進	推進	推進
地域防災計画実施推進計画	推進	更新	推進	推進

事業名	大規模水害対策の推進			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 大規模水害の発生に備え、各避難所に指定された水害対策運用班による避難場所運営担当職員研修を実施するとともに、随時、訓練の結果を踏まえ「大規模水害時避難場所対応マニュアル」を改善していきます。 大規模水害時に区内の大部分が浸水する想定であることを踏まえ、引き続き、国や東京都、他自治体等の防災関係機関と連携し、大規模水害発生時における広域避難体制の検討・整備を進めていきます。 大規模水害時の避難方法等について、様々な機会を捉えて区民や事業者等への啓発を図っていきます。 大規模水害時以外の、石神井川の氾濫、内水氾濫、土砂災害等の各種水害発生時の避難方法等についても、様々な機会を捉えて対象地域の区民や事業者等への啓発を図っていきます。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
大規模水害時避難場所対応マニュアルの改善	改善	改善	改善	改善
大規模水害時の避難方法等の普及啓発	実施	実施	実施	実施

事業名	災害時医療体制整備事業			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 令和あらかわ病院と緊密に連携し、区内における災害拠点病院を早期に確保するとともに、限られた人材や医療資源の下でも迅速かつ的確に負傷者への対応ができるよう、災害医療体制の充実を図ります。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
区と令和あらかわ病院との連携訓練の実施(※1)	実施	実施	実施	重点的に実施(※2)
緊急医療救護所用マニュアルの整備(アクションカード)	85%	90%	95%	100%
緊急医療救護所開設・図上訓練の実施箇所数	1	2	3	6

※1 MC A無線による通信訓練や緊急医療救護所開設・図上訓練を含む。

※2 災害拠点病院の指定を受けての重点的な訓練実施を見込む。

施策名

「災害に強い街づくりの推進」



目的・方向性

耐震性や耐火性のある建物への更新が進み、容易に消火や避難が可能な道路やオープンスペースが整備された防火性の高い都市構造を目指し、区民の誰もが安心して暮らせる災害に強い街づくりを推進します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画（第3期）		
	5年度	6年度	7年度	8年度 【基本計画最終年度】
不燃領域率（不燃化特区）	65.8%	67.9%	70.0%	70%超
住宅の耐震化率	88%	—————→		95%超

重点事業（計画事業）

事業名	不燃化特区整備促進事業			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 不燃領域率の向上を目指し、老朽木造建築物の建替えや除却、主要生活道路の拡幅整備、公園や広場等のオープンスペースの確保を推進する取組を実施します。 事業期間を令和3年度から7年度まで5年間延長するとともに、荒川二・四・七丁目地区は、荒川一・三丁目及び南千住一・五丁目を含んだ荒川・南千住地区として、取組を推進します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
不燃領域率 (荒川・南千住地区)	66.4%	68.2%	70.0%	70%超
不燃領域率 (町屋・尾久地区)	65.0%	67.5%	70.0%	70%超

VI 安全安心都市

政策 11 : 防災・防犯のまちづくり

事業名	耐震化推進事業			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の耐震化率の向上を目指し、耐震性が不足する建築物の建替えや除却、耐震補強工事を推進する取組を実施します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
荒川区耐震改修促進計画の推進	実施	実施	計画改定	実施
木造建物耐震化推進事業助成（耐震補強・除却・建替え工事）	19棟	実施	実施	実施
非木造建物耐震化推進事業助成（耐震補強・建替え工事）	2棟	実施	実施	実施

事業名	空き家対策事業			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 「空き家等対策計画」及び「空き家等対策の推進に関する条例」に基づき、空き家化の予防や適切な維持管理を促進するとともに、利用可能な空き家を地域の資源と捉え、活用の促進を図ることにより、地域の活性化やまちの魅力の向上につなげます。 周辺に悪影響を及ぼしている管理不全な空き家等に対しては、実効性のある改善指導を行います。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
空き家等相談会の開催	実施	実施	実施	実施
空き家の利活用支援	実施	実施	実施	実施
特定空き家等対策審査会の開催	実施	実施	実施	実施
著しく危険な老朽空き家の除却助成	2棟	3棟	3棟	3棟

施策名

「犯罪をゆるさないまちづくりの推進」



目的・方向性

区内の犯罪に関する情報や被害防止の方法などを広く区民に周知することで、防犯意識の向上を促すとともに、安全・安心パトロールカーによる巡回や防犯カメラの設置などにより、犯罪が起きにくい環境を整備します。

体感治安の向上を図り、区民の誰もが安全安心を実感できるまちの実現を目指します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画 (第3期)		
	5年度	6年度	7年度	8年度 【基本計画最終年度】
刑法犯認知件数 (全体)	1,100 件	1,060 件	1,030 件	1,000 件
ゲートウェイ犯罪 (※ 1) の件数 (自転車盗、 万引き)	420 件	395 件	370 件	350 件
指定重点犯罪 (※2) の 件数	90 件	85 件	80 件	70 件
特殊詐欺の件数 (※3)	35 件	20 件	15 件	4 件
自転車関連事故件数	230 件	220 件	210 件	200 件
指導員配置時における 児童の交通事故発生 件数	0 件	0 件	0 件	0 件
小学校内への不審者 等侵入件数	0 件	0 件	0 件	0 件
学校情報配信システ ム登録率	(小) 97.9%	98.4%	98.9%	99.4%
	(中) 98.0%	98.4%	98.8%	99.2%
	(幼) 99.8%	99.9%	100%	100%

- ※1 自転車盗や万引きは、ゲートウェイ犯罪 (重大な犯罪への入り口) とも呼ばれ、将来的に重大な犯罪へと手を染める契機となるものといわれている。
- ※2 特に不安を感じる身近な犯罪として警視庁が指定した、「強盗」「侵入窃盗」「ひったくり」「性犯罪」「特殊詐欺 (振り込め詐欺、振り込め類似詐欺の総称)」「自動車盗」「子供に対する犯罪」の7罪種のこと。
- ※3 面識のない不特定多数の者に対し、電話その他の通信手段を用いて、対面することなく被害者をだまし、不正に入手した架空又は他人名義の預貯金口座への振り込みなどの方法により、被害者に現金などを交付させる詐欺のこと。代表されるオレオレ詐欺のほか、還付金詐欺、架空請求詐欺など詐欺の手法は多岐にわたる。

重点事業（計画事業）

事業名	地域防犯力の向上			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 「防犯かわら版」による防犯情報の周知や防犯啓発指導員による防犯講話の実施など、様々な機会を活用した防犯知識に関する普及啓発を進めるとともに、区民一人一人の防犯意識の向上を図ります。 町会による防犯パトロールや「見守り活動隊」の活動など、区民による防犯活動への支援を充実します。 地域の防犯力や警察と連携して特殊詐欺被害撲滅のためのあらゆる防犯啓発活動を推進します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
「防犯かわら版」の配布等による意識啓発	推進	推進	推進	推進
防犯講話の実施	充実	充実	充実	充実
見守り活動隊への支援	充実	充実	充実	充実
住まいの防犯対策補助金	400件	350件	300件	250件

事業名	自転車盗難対策の強化			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 町会、自治会、警察署と連携し、カギ掛けの励行を呼びかけるキャンペーンを繰り返し実施します。 自転車盗の発生状況の推移を検証し、青パト及び盗難防止指導員を配置します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
盗難防止キャンペーンの実施	充実	充実	充実	充実
自転車盗難件数	300件	295件	290件	285件

事業名	防犯カメラの設置・管理			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラの設置方針に基づく設置の終了等により、適切な管理を実行するとともに、新たな需要に効果的に対応するための設置等を行います。また、設置後一定年数経過したものについては、順次更新を行い、設置場所の変更等の検討を行います。 警察署と連携して、未整備の町会・自治会を対象とする説明会を開催するなど、防犯カメラ設置について協力を求めています。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
防犯カメラの設置台数 (幹線道路、駅前、区境等)	141台	適正配置の 検討・実施	適正配置の 検討・実施	適正配置の 検討・実施
防犯カメラの設置台数 (通学路)	190台	適正配置の 検討・実施	適正配置の 検討・実施	適正配置の 検討・実施
防犯カメラ設置台数 (公園・児童遊園等)	171台	新設する公園等 への設置	新設する公園等 への設置	新設する公園 等への設置
町会、商店街等、地域 団体による防犯カメラ 設置への助成件数	11件	11件	11件	11件

事業名	安全安心ステーションの充実			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 日暮里安全安心ステーションに勤務する職員に、区の防犯対策事業や犯罪の発生状況等を定期的に伝え、区民からの防犯相談に乗れる体制を作るとともに、ステーション職員による各戸訪問による防犯指導など、ステーションを活用した事業の周知を積極的に展開することで、地域防犯の拠点としての機能を高めます。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
安全安心ステーション職員による各戸訪問防犯指導件数	300件	300件	300件	300件

政策 11 : 防災・防犯のまちづくり

事業名	登下校時等における子どもの安全対策			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 区立小学校において、下校時における低学年児童への付き添いや見回り活動を行います。また、学校安全ボランティアによる見守り活動を行う等、地域ぐるみで児童の安全を確保します。 登下校時の児童の交通安全を確保するため、区立小学校の通学路に児童通学案内指導員を配置し、児童に対する通学案内及び安全指導を行います。 区立小学校及びこども園等に安全推進員を配置することで、不審者の発見に努める等、登下校時及び授業中等の安全確保を図ります。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
学校安全パトロール中の犯罪事故等発生件数	0件	0件	0件	0件
指導員配置時の交通事故発生件数	0件	0件	0件	0件
小学校等内における犯罪発生件数	0件	0件	0件	0件

事業名	学校情報配信システム			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全に関わる緊急情報等を区立小中学校、幼稚園、こども園の児童、生徒、園児の保護者の携帯電話等にメール配信することにより、注意喚起を促し、子どもを犯罪から未然に守ります。なお、令和6年度からは、既に導入されている学校と保護者をつなぐ連絡手段のデジタル連絡ツールに移行し、システムを統一することで、保護者の利便性の向上を目指します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
不審者情報のメール配信	44件	配信	配信	配信
学校情報配信システム登録率(小)	97.9%	98.4%	98.9%	99.4%
学校情報配信システム登録率(中)	98.0%	98.4%	98.8%	99.2%
学校情報配信システム登録率(幼)	99.8%	99.9%	100%	100%

施策名

「都市計画道路の整備」



目的・方向性

避難路や延焼遮断帯としての機能確保、木造住宅密集地域の防災性向上、安全に歩行できる空間の確保、電線類の地中化や植樹帯の整備のため、都市計画道路の整備を推進します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画（第3期）		
	5年度	6年度	7年度	8年度 【基本計画最終年度】
都市計画道路の整備率	58.1%	58.1%	58.1%	69.3%

重点事業（計画事業）

事業名	都市計画道路補助193号線整備			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 木造住宅が密集している区域に接する本線（旭電化通り）の幅員を現在の約11mから15mに拡幅整備し、延焼遮断帯の形成や避難経路機能を確保します。 電線類の地中化や沿道住宅の建替え等により地域の防災性を向上させ、災害に強い街づくりを推進します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
補助193号線第一期の整備	用地取得	用地取得	用地取得	用地取得
補助193号線第二期の整備	測量	事業認可取得 用地取得	用地取得	用地取得

事業名	都市計画道路補助331号線整備			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 南千住駅西側地域の住民が円滑に東側に移動できるよう、都市の骨格となる道路ネットワークを形成し、併せて街の防災性を向上させます。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
補助331号線の整備	工事	工事	工事	竣工予定

VI 安全安心都市

施策名

「交通環境の整備」



目的・方向性

交通環境の整備を図り、多様な交通手段の確保に努めます。

また、放置自転車をなくして環境に配慮した駅前空間を創出するとともに、安全で安心して通行できる道路環境を整備していきます。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画（第3期）		
	5年度	6年度	7年度	8年度 【基本計画最終年度】
自転車放置率（※1）	4.8%	4.7%	4.6%	4.5%
自転車通行空間整備延長（区道）（※2）	約 4,500m	約 5,500m	約 6,500m	約 7,500m

※1 駅周辺の自転車等乗り入れ台数に対する放置自転車等台数の割合【放置台数／（放置台数＋駐車場利用台数）】

※2 自転車通行空間整備延長については、累計とする。

重点事業（計画事業）

事業名	多様な交通手段の確保			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス運行事業者と連携し、継続運行に向けたサービス向上に努めます。また、新たな交通手段について検討していきます。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
コミュニティバスの運行内容の改善	実施	検討	検討	検討
新たな交通手段の検討	デマンド交通の実証運行	検討	検討	検討

事業名	総合的な自転車施策の推進			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した駅前空間の創出を図るため、放置自転車の撤去を推進していきます。 自転車の安全利用を促進するため、自転車通行空間の整備を推進していきます。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
放置自転車の撤去	推進	推進	推進	推進
自転車通行空間整備 延長（区道）	約 4,500m	約 5,500m	約 6,500m	約 7,500m

施策名 「市街地再開発事業等の推進」



目的・方向性

荒川区の拠点となる区内駅前地区において再開発事業を推進することにより、住宅、商業、工業が混在した密集市街地を解消し、安全で快適な街を形成するとともに、駅前にふさわしいにぎわいを創出し、街の活性化を図ります。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実施計画（第3期）		
	5年度	6年度	7年度	8年度 【基本計画最終年度】
市街地再開発事業の進捗率（全地区）	83%	86%	89%	92%

重点事業（計画事業）

事業名	三河島駅前北地区市街地再開発事業			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 周辺を含む地域の防災性向上や駅前のにぎわいの創出を目的とした再開発を推進します。 区が取得する床については、多目的アリーナを整備します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
事業の進捗	50%	60%	70%	80%

事業名	西日暮里駅前地区市街地再開発事業			
実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 都市基盤の整備及び駅前のにぎわいの創出を目的とした再開発を推進します。 駅前立地を生かし、公民連携による利便性の高い文化交流施設の整備を目指します。区が取得する床については、子どもから高齢者まで誰もが気軽に利用でき、区外にも開かれた利便性の高い施設の設置を検討します。 			
実績目標	本年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度
事業の進捗	40%	50%	60%	70%